

第25回

今年から集会の名称が
新しくなるよ♪



障害のある子どもの教育を語り合う 全国学習交流集会 in 千葉

(全国障害児学級&学校学習交流集会)

開催要綱

昨年度まで24回を重ねてきた「全国障害児学級&学校学習交流集会」という名称を、第25回の今回から「障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会」に変更することにしました。障害のある子どもたちは通常学級でも学んでいます。より多くの方と学べる集会にしていきたいと考え、幼稚園・小学校・中学校・高校の通常学級の教職員のみなさん、さまざまな職種のみなさん、保護者のみなさん、学生のみなさんなどにも来てもらえるように集会の中身も工夫しました。今回の集会では、2日目の午前中のてんこ盛り講座で通常学級での支援を考える講座、午後の旬の実践分科会の第3、4分科会では、通常学級の実践レポート報告もあります。障害のある子どもたちの発達を保障する教育をすすめていくために、大いに悩みやねがいを語り合いましょう。みなさん、誘い合ってご参加ください。

今年度の集会のテーマ

学び合い、語り合い、つながり合おう
～子どもたちの輝きを探して～

【期　　日】 2026年1月10日（土）～11日（日）

【場　　所】 1月10日（土）全体会 浦安市文化会館大ホール（浦安市猫実1-1-2）
　　　　　　全体交流会 浦安ブライトンホテル東京ベイ（浦安市美浜1-9）
1月11日（日）船橋市立市場小学校（船橋市市場1-5-1）
　　　　　　船橋市勤労市民センター（船橋市本町4-19-6）

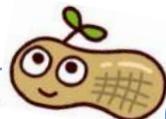
【開催方法】 会場での直接参加（11日午後のみ一部オンライン併用）

【参 加 費】 2日参加：3000円、1日参加：2000円 オンライン参加者は1000円
保護者・学生は500円（1日・両日いずれも）
全体交流会：8000円

		12:00～	13:00～16:30	18:00～
10日 (土)		受付	開会全体会	全体交流会
	9:30～11:30		13:00～16:30	
11日 (日)	てんこ盛り講座 文化バザール 現地企画		旬の実践分科会 基礎講座（15:30まで）	

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会
【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

全体会(1/10)13:00~16:30



◇13:00~ オープニング

「浦安の特別支援学級の子どもたちによる発表 & 明海よさこい連による『浦安舞』」

子どもたちの得意や好きなことを詰め込んだスペシャルパフォーマンスと、浦安の明海よさこい連とのコラボ企画『みんなで踊ろう！舞いだ！浦安舞』で、みなさまを歓迎します！どうぞお楽しみに☆

「千葉ってこんなところ？！～千葉のミニ紹介～」

千葉の有名どころのあの場所、の人…千葉の障害児教育の歴史、天海訴訟など、千葉のいろいろ、紹介します♪

◇13:40~14:30 主催者あいさつ・基調報告など

◇14:45~16:15 記念講演 三木 裕和さん（立命館大学教授）

「人間を大切にするしごと～障害のある子どものココロを理解する～」

◇16:15~16:30 次年度の集会について・諸連絡

全体交流会(1/10)18:00~

会場:浦安ブライトンホテル

全国からの参加者が一堂に会する「全体交流会」。美味しい食事や飲み物を囲んで、日々の実践、仕事の悩みややりがいなど、仲間と語り合いましょう。会費が例年より高くなってしましましたが、集会に集まった全国の仲間との交流の場を大切にしたいと、何とか見つけた宴会場！千葉の地酒もご用意しています！たくさんのご参加お待ちしています。

てんこ盛り講座(1/11)9:30~11:30

講 座 名		講 師	会 場
1	国語の授業づくりのコツ ～楽しくなければ授業じゃない！～	立川 都さん（東京）	市場小3年1組
2	ワイワイ遊ぼう ワクワク 考えよう ナルホド そうか！！ ～そんな 楽しい算数の授業と一緒に体験しよう～	新田 江美子さん（千葉）	市場小1年2組
3	自分らしく大きくなれ ～安心して学び合う学級づくり～	桜井 佳子さん（東京）	市場小3年2組
4	教科学習のもととなる授業 ～「シンボル・概念・ことば」をはぐくむ～	櫻井 宏明さん (全国障害者問題研究会)	市場小5年1組
5	訪問教育入門	長 正晴さん（埼玉）	勤労市民センター 第四会議室
6	学校教育として医療的ケアに取り組む意味 ～自分の身体を理解し人生を豊かに拓く力を～	竹脇 真悟さん（日本福祉大学）	市場小4年2組
7	青年期の自分づくりと教育実践 ～福祉型専攻科の実践から特別支援学校の教育を問い合わせ直す～	船橋 秀彦さん (福祉型専攻科シャンティつくば)	市場小6年1組
8	「包括的性教育」～あたりまえに生きていく権利として～	日暮 かをるさん (包括的性教育推進法の制定をめざすネットワーク)	市場小 けやきランチルーム
9	すべての子どもの発達を保障する インクルーシブ教育をめざして	児嶋 芳郎さん（立正大学）	勤労市民センター レクリエーションルーム
10	通常の学級で困り感を抱えている子へのアプローチ ～発達障害通級指導教室担当者の実践から学ぶ～	大山 恵子さん（千葉）	勤労市民センター 第一講習室

文化バザール(1/11)9:30~11:30

文化バザール		講 師	会 場
1	子ども達の笑顔あふれるマジック講座♪	佐藤 比呂二さん（都留文科大学）	勤労市民センター 第一会議室
2	手作りおもちゃで楽しく遊ぼう 駄々っ子みたいに動く「じたばた人形」や、かわいい小鳥の「いないいないばあ」、それに「汐吹クジラ」など、ちょっとした仕掛けを使った楽しいおもちゃを紹介します。 ※材料費100円	森下 友子さん（千葉）	市場小 図工室

現地企画(1/11)9:30~11:30

『生きづらさ』の原因って何だろう?~不登校について語るシンポジウム~	会 場
多くの子どもたちは、現在「生きづらさ」を抱えています。その一つの現れは、「不登校」です。教師、カウンセラー、ソーシャルワーカー、保護者などの様々な視点から、子ども一人一人の「生きづらさ」の原因を考えていきます。子どもたちのより豊かな生活と未来につながるような、支援のあり方を共に模索しましょう。	市場小 図書室
「保護者も 教師も みんなでつながろう 語り場」	
この講座では、2人の保護者の方に、それぞれの子育ての経験を語っていただき、みんながつながってより良い子どもたちの未来、教育を考えていきます。日頃考えていること、不安に感じていることなど、ざっくばらんに語り合いましょう!	市場小 視聴覚室

旬の実践分科会(1/11)13:00~16:30 【※のみオンライン併用】

旬 の 実 践 分 科 会	共 同 研 究 者	会 場
1, 障害児学級での教育実践（小）	渡邊 朋子さん（千葉）	
片山 望（高 知）「楽しい瞬間を積み重ねて」 塙 彩名（埼 玉）「みんなで取り組んだ「もりのおふろ」の学習～2年生との交流会での発表～」		市場小 視聴覚室
2, 障害児学級での教育実践（中）	山下 洋兒さん（元特別支援学級教員）	
荻本 恒也（東 京）「子どもが変わる」を考える 幅野 勇生（広 島）「楽しいクラス作り～中学校特別支援学級の実践～」 馬場崎 誠一郎（佐 賀）「情緒学級1年生を3年目～チームワークで対応～」		市場小 けやきランチルーム
3, 発達障害児の教育実践（通常学級・自閉症情緒障害学級）	宮本 郷子さん (元小学校通常学級教員・立命館大学)	市場小 1年2組
高橋 朋也（千 葉）「頭ではわかってるんだけど～経験を言葉にして積み上げることで起こった変化～」 東楨 もも華（大 阪）「3年4組という学級」		
4, 発達障害児の教育実践（通常学級・通級指導教室）	越野 和之さん（奈良教育大学）	市場小 1年1組
海貝 太一（千 葉）「小1 プロブレムの児童への対応～1年間の実践を通して～」 足立 紀夫（岐 阜）「TYくんの言いたい放題！？・その後～通級指導を通して子どもをつかむということ～」		
5, 視覚障害児の教育実践 【※オンライン併用】	寺田 健太郎さん（埼玉）	勤労市民センター 第一講習室
坂元 康雄（東 京）「K9歳「続・はじめてのおとまり」～「イヤダ」からはじまる生活～」 中尾 久美子（和歌山）「『美術っていいやん』と思えるように」		
6, 聴覚障害児の教育実践	竹沢 清さん（元ろう学校教員）	市場小 2年1組
鳥龍 黒沢（東 京）「知的高等部からろう中学部に異動して感じたこと、またクラス生徒との関わり方」 吉川 由美子（神奈川）「学校を変えてきた日々の積み重ね そして、“その先”への模索 ～子どもたちも大人たちも、未来の自分たちに向けて、できることを一步ずつ～」		
7, 病弱の子どもたちの教育実践	栗山 宣夫さん（育英短期大学）	市場小 4年2組
M . M（北海道）「ICT活用に思うこと」 浦野 正敬（埼 玉）「学習の下支えとしてのボードゲームの実践」		
8, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ア) 1歳半未満の発達段階の子どもたち	河合 隆平さん（都立大学）	市場小 5年1組
藤枝 清香（千 葉）「日常生活の指導～一对一での学習から他者とのつながりへ～」 高橋 たかし（東 京）「成長しよう 子どもも 学習内容も～「生活単元学習」の実践を通して～」		
9, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり イ) ことば獲得期の発達段階の子どもたち	竹脇 真悟さん（日本福祉大学）	市場小 6年1組
大師 観世（滋 賀）「『ないの！ないの！』を分かりたい～Kくんとの日々の中で～」 本田 理沙（愛 媛）「『イヤ』のことばの中にある願い～くんとの関わりから感じたこと～」		
10, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ウ) 教科指導・教科入門期の発達段階の子どもたち	櫻井 宏明さん（全国障害者問題研究会）	市場小 4年1組
若山 健太（埼 玉）「国語・数学の授業～『落語』を楽しもう！～」 中島 芳明（滋 賀）国語や文化祭の取り組みを通じて ～自分自身や自分にとっての障害をみつめ、自分づくりをしていくために～		

11, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり(小)	三木 裕和さん(立命館大学)	市場小 3年2組
梶 真己(静岡)「いーくんのいっぽ!僕の1歩「楽しい」でつながる365日」 池田 翼(奈良)「みえないねがいに目をこらして」		
12, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり(中・高)	別府 哲さん(岐阜大学)	市場小 3年1組
島 範美(京都)「自閉症、みんな違ってみんないい?」 永瀬 祐子(青森)「ASDの育ちへ失敗は成功のヒント~」		
13, 青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	山崎 由可里さん(和歌山大学)	市場小 図書室
佐藤 純香(愛知)「この時間はなんだろう?~働くことについて考える~」 久保 夏帆(神奈川)「だれもがアーティスト!『できる!』を増やす授業をめざして」		
14, 性教育の実践	伊藤 修毅さん(日本福祉大学)	市場小 2年2組
佐久間 千枝(宮城)「先生、どうすれば赤ちゃん産まなくていいの?」から始まる、心と体の学習 矢島 健思(東京)「この子たちにこそ、性教育を!」		
15, 子どもに寄り添う寄宿舎教育 【※オンライン併用】	小野川 文子さん(北海道教育大学)	勤労市民センター 第一会議室
河合求・大前学(福井)「よりよい自分になりたい」~ユウキくんの思いに寄り添いながら~ 樋口 亮(東京)「子どもに寄り添う生活指導 ~A君との関わりを通じて~」		
16, 保護者との共同・教育条件整備 【※オンライン併用】	児嶋 芳郎さん(立正大学)	勤労市民センター 第四会議室
山林 哲(大阪)「大阪市鶴見区での保護者・関係者が集う場づくり~鶴見区にステキな支援学校をつくる会~」 樋口洋一・相澤裕一・秋江直子(東京)「保護者と共に、東京から全国に広がる運動を! 学級・学校・寄宿舎それぞれの立場から」		

基礎講座(1/11 13:00~15:30)

出会いはタカラモノ~子どもから教えられたことばかり~	佐藤 比呂二さん(都留文科大学)	会 場
一見『問題』に見える子どもたちの行動の中に、『成長したい』と思っているホントの願いがあります。 そんなねがいをどう見つけ、どう授業実践につなげていくか、佐藤先生のお話を聞きながら、一緒に学んでいきましょう。		勤労市民センター レクリエーションルーム

参加のお申し込みについて 【締め切り】12月15日

1. 参加申込みについて ↓参加される方は全員、下記URLまたは二次元コードからお申込みください。

<https://forms.gle/s1fWU6ZjqaYHSxsv7>



- ① 申込みフォームに入り、必要な項目を入力します。
- ② 申込み後、①のメールアドレスに「forms-receipts-noreply@google.com」から受付確認メールが届きます。届かない場合は、「迷惑メールフォルダー」を確認するか、迷惑メール設定でこのアドレスを外すか、受信できるまで試みてください。

※受付確認メールが届かない場合は、必ず下記4の全教まで問い合わせてください。受付確認メールが届かない方は、そのあと他の集会連絡メール等も届かない可能性があります。

※講座や分科会で手話通訳や点訳レポート等を希望される方は、申込みフォームの「合理的配慮希望欄」に必ずお書きください。(手話通訳の申込みは、11月末日までにお願いします。)

- ③ 参加者全員に「集会連絡メール」を12月22日までに syoukyou_bu@educas.jp より送ります。
12月22日までに「集会連絡メール」が届かない方は下記までご連絡ください。

2. キャンセルについて オンライン参加、現地参加ともに、都合が悪くなってしまっても、連絡は必要ありません。

ただし全体交流会に申し込まれた方で欠席に変更する方は、1月4日までに下記4に連絡してください。

キャンセル連絡のない場合は、交流会費8000円を後日お支払いいただく場合があります。

3. オンライン参加費の支払いについて

- ①お近くの現地参加する方へ、参加費(1000円)を預けてください。
- ②①が不可能な場合は下記へご連絡ください。集会後に所定の口座に振込みをお願いします。(手数料自己負担)

4. お問い合わせ (全国実行委員会・全日本教職員組合障害児教育部)

■ 1月8日までの連絡先 TEL (03) 5211-0123 FAX (03) 5211-0124

メール syoukyou_bu@educas.jp 担当: 村田、峯田

■ 1月9日~11日の連絡先 全教携帯【 080-7930-3200 】まで

